

財務情報に関する説明資料について

(1) 財務状況を全般的に説明する資料

1. 資金収支計算書について

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する収入および支出の内容を明らかにするとともに、期首と期末の支払資金残高を比較するもので、企業の資金繰り表に相当します。

収入の部では、学生生徒等納付金収入他ほとんどの収入は予算どおりでしたが、予算では見込んでいなかった有価証券の売却収入が 1,321 百万円（投資信託の売却およびユーロ円債の期限前償還等）あり、予算比 1,559 百万円増の 21,406 百万円となりました。

支出の部では、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出等はほぼ予算どおりでしたが、資金運用支出が 7,804 百万円（大口定期預金から譲渡性預金へのシフト 60 億円、特定金銭信託の増加 15 億円等、予算比 66 億円のプラス）あり、翌年度繰越支払資金が予算比 4,791 百万円減の 9,467 百万円となりました。

2. 活動区分資金収支計算書について

活動区分資金収支計算書は、資金収支を 3 つの活動区分（教育活動、施設整備等活動、その他の活動）に分けて明示したものです。

教育活動資金収支は 819 百万円のプラス、施設整備等活動収支は 776 百万円のマイナス（硬式野球場建設等による）、その他の活動収支は 6,231 百万円のマイナス（資金運用支出 7,804 百万円等による）となりました。

3. 事業活動資金収支計算書について

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、①教育活動収支、②教育活動外収支、③特別収支の 3 分野ごとに収支差額が明示されております。

教育活動収支は予算比 56 百万円プラスの 299 百万円、教育活動外収支は予算比 25 百万円プラスの 46 百万円、特別収支は予算比 27 百万円プラスの 36 百万円と 3 分野ともにプラスとなり、基本金組入前当年度収支差額は予算比 123 百万円の 382 百万円となりました。

4. 貸借対照表について

貸借対照表は、学校法人の会計年度末の財務状態を表すものです。平成 28 年度末（平成 29 年 3 月 31 日）の貸借対照表の概要は次のとおりです。

①資産の部

硬式野球場の建設および運用資産の増加により、前年比 470 百万円増加し、48,005 百万円となりました。

②負債の部

未払金、前受金の増加により前年比 88 百万円増加し、777 百万円となりました。

③純資産の部

基本金は、第 3 体育館の完成、硬式野球場建設等により前年比 750 百万円増加しました。繰越収支差額は、前年比 369 百万円減少し、基本金と繰越収支差額の合計額である純資産の部は、前年度比 382 百万円増加し、47,228 百万円となりました。